

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	製図	2	1	デザイン	必修	デザイン製図 実教出版

1. 学習の到達目標

製図は製品を作る上では必要な「言葉」です。平面、立体を問わず、正確な作図法を理解することは、デザインの勉強をする上でも必要な技能です。多角形や円の図法は、平面構成をする上で必要であり、三面図（平面図・立面図・側面図）は、立体（プロダクトデザイン）を学習する上で必要です。この技能が身に付いているかどうかで作品制作の幅が広がります。空間認識力が身につくように、基礎的な作図法から一つ一つ丁寧に学習することを目標にしています。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	製図（平面図法、立体図法）に関心を持ち、その基本的な知識と技術の修得に意欲的に取り組む態度を身に付ける。	製図の過程で工夫し、作成した図面（平面図、三面図）を読み取る能力とわかりやすい表示技術を身に付けている。	製図に関する定規、コンパスなどの正しい使用法を身につける。	基礎製図及びインテリア製図における基本的な規格、作図法等を知り、図面を正確に理解する能力を身に付けている
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題・宿題・ノートなどの提出物の状況、定期考査、小テストなどを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

予習・復習が大切な教科です。その日に学習したことは、言葉では表現できないので必ず復習するようにしましょう。ワークシートを使ったり、作図の横に作図法を解説するコメントを書いたりして、丁寧な授業をしています。理解できない生徒は表情でわかりますので、再度説明をして皆が製図の楽しさを感じてもらえるように努力します。

作図法のきっかけがつかめれば、まるでパズルを解くような楽しさを感じてもらえると思います。肩を張らずに授業を受けて、「ものづくり」の楽しさを感じてください。

月	大項目	中項目	時数
4	第1章 デザインと製図 第1節 デザイン製図について	1. 製図 2. 設計 (デザイン) 3. インテリア製図と 設計者	2
	第2節 製図の用具と材料	1. 製図用具 2. 表現技法に用いる 用具と材料	1
5	第3節 図法1	1. 平面図法 i. 直線に関する図法 ii. 平面に関する図法 iii. 円に関する図法 iv. 接触角に関する図法 v. 曲線に関する図法	13
6			
	第2章 製図の基礎 第1節 製図の規約	1. 製図の条件 2. 尺度及び線と文字 3. 寸法記入法	6
7			
	第2節 図法2	1. 立体図法 i. 投影図法の基礎 ii. 第三角法 iii. 斜投影図法	16
9			
10			
		iv. 等角投影図法 V. 透視図	14
11			
12			
1	第3章 製図の実際	1. レンダリング	6
2		2. 食器・家具製図	12
3			